

科目名	こどもと文化Ⅰ		担当教員	深谷 ベルタ・池谷 潤子 高森 智子		
			担当形態	複数		
テキスト	必要に応じて配布する	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本やパネルシアター、手あそびなど、乳幼児向けの文化財についての知識を身につけ、実践できること。 ・課題について適切な資料を用いて調べ、検討し、まとめることができること。 ・配布された資料を整理（分類）して、学びの記録となるポートフォリオを作成することができること。 <p>■授業の概要</p> <p>子どもが成長していく上で、児童文化財との関わりが重視される。この授業では、子どもの文化を【言葉と物語文化】及び【子どものあそび文化】という二つの視点から整理し、その内容と意義について理解すると共に、子どもの文化の伝承の変遷から伝承することの意義を考えていく。様々な児童文化財について講義による知識の習得を図ると同時に、実際に取り組むことで技能を身につける。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 授業ナビゲーション「子どもにとっての“文化”とは」 第2回 絵本の不思議 第3回 絵本の読み聞かせをしてみよう 第4回 紙芝居から見る児童文化 第5回 紙芝居を演じてみよう 第6回 言葉とイメージで広がるお話の世界 第7回 素話を語ろう 第8回 手あそびとわらべ歌・童謡について学ぶ・実践する 第9回 オノマトペと言葉あそびについて学ぶ・実践する 第10回 子どものおもちゃが果たす役割 第11回 素材あそびを楽しもう 第12回 パペットを作ろう 第13回 パペットで演じよう 第14回 お話を身体で表現しよう 第15回 実技試験、まとめ</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに応じて、事前に提示された課題を元に授業を行うことがあります。各自準備をした上で、授業に臨んでください。 ・授業後に、テーマに応じたワークシートを作成します。作成したシートはポートフォリオに保管し、指定された期日までに提出してください。 ・その他、必要に応じて課題が出る場合があります。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオの内容 — 30% ・実技や発表課題・レポート — 40% ・授業への参加態度（活動への積極的な取り組み、発言内容等） — 30% 						
参考文献	授業中に適宜示します。	特記事項	<p><準備するもの> クリアポケットフォルダー（40ポケット型・A4サイズ） 【課題等のフィードバック方法】 ミニレポート等にはコメントを書き加え返却する。</p>			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状選択必修 保育士資格選択必修	幼	教科に関する科目			
		保	保育の表現技術			